

切り取る広告に驚き

崇城大芸術学部教授

三枝泰之さん



今回は、例年になくバリエーションがあった。広告を切り取って胸に張り、金栗四三ミュージアムに入場すると割引サービスが受けられるなど、ネット広告ではできないものだ。驚きと面白さがあった。グランプリは広告の王道という感じ。地元で話題の画家の作品を全面に用いて、唯一無二の阿蘇と広告主のイメージを重ねた。若い世代へ向けた就職先のPRや熊本文化と魅力を発信している作品もあった。全体的に文字を書き込みすぎず、優しいイメージの作品が多く良かった。今後も新聞だからこそできる広告の表現を見た